

## 新入社員向け IT 人材育成研修 ご案内

株式会社浜名湖国際頭脳センターでは、2017年IT人材育成研修の1つとして、新卒採用されるIT企業及びIT関連企業で働かれる社会人向けのIT基礎教育プログラム**IT人材育成新入社員研修「課題解決型エンジニア養成コース」**を浜松地域の企業向けに企画いたしました。

このプログラムは「国立大学法人静岡大学名誉教授 八巻直一氏」と「株式会社システム計画研究所」の研究員を講師としてお招きし、株式会社ITSCが実施いたします。

**IT人材育成新入社員研修**の特徴は、情報技術の背景から情報システム構築及び管理に至までの基礎を学びます。これにより、情報システムの構築を設計からプログラム実装まで体験を通して構築技術と組織管理を体験学習し、IT社会の技術変遷と管理技術の知識を学習します。

この研修においては、研修参加者間の人脈作りを兼ねるため、小チームを作り課題解決をチーム内で行い課題発表します。また、受講生個々の文書作成力を養うため、日々のレポート作成を行い文書作成力の向上を図ります。

### 【IT人材育成新入社員研修「課題解決型エンジニア養成コース」スケジュール】

2017年4月6日～5月31日（の内33日間） [247時間30分]

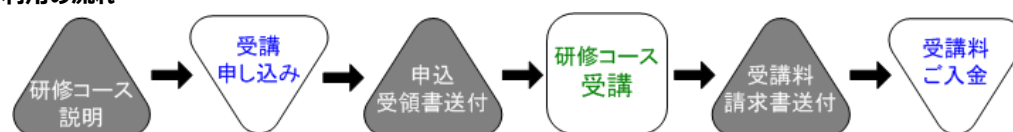
No.	研修コース内講座一覧	
1	データベース基礎講座	2日間
2	プログラミング講座	7日間
3	情報システム開発講座	8日間
4	情報システム基礎Ⅰ講座	8日間
5	情報システム基礎Ⅱ講座	8日間

受講料計 594,000円（税抜）

※上記研修コース内の講座を選択受講されることも可能です。その場合の前提条件を下記に示します。

- ・情報システム基礎Ⅱ講座の受講は情報システム基礎Ⅰ講座の受講知識レベル程度を有する方
- ・情報システム開発講座の受講はプログラミング講座の受講知識レベル程度を有する方

#### ご利用の流れ



#### 【お申込み方法】

添付の申込書に御記入の上、FAXにて2017年2月17日(金)までに申し込みください。  
受付後、こちらから確認のご連絡をいたします。

#### 【お申込み先／お問い合わせ先】

株式会社ITSC 担当 市川 摩利子 宛  
FAX.053-401-8227 / TEL.053-401-8226

#### 【企画】

株式会社浜名湖国際頭脳センター／HIC  
〒431-1207 静岡県浜松市西区村柳町 4598-9  
Tel.053-484-4002

#### 【研修実施】

株式会社ITSC（国立大学法人静岡大学発ベンチャー企業）  
〒432-8003 静岡県浜松市中区和地山 3-1-7  
Tel. 053-401-8226

## データベース基礎講座 ご案内

【主催】株式会社浜名湖国際頭脳センター

【目的】本講座は「データベースの概念と論理設計」の基礎を学び、実際に実装し体験学習します。

【構成】本講座は下表に示す1科目からなり、合計2日間（15時間）で実施します。

【期間】4月6日・4月10日（7.5時間/日）

【時間】 9:30～12:30（中間休憩10分含）

13:30～18:00（中間休憩10分×2回含）

【場所】静岡県浜松市中区砂山町348-12 オレンジビル3F Bルーム

【講師】堀 格人／(株)システム計画研究所（研究員）兼 静岡大学情報基盤センター(客員教授)

【定員】20名

【受講料】¥36,000 ※テキスト代等含む。消費税は含みません。

科目名	科目内容	計画	
		時間	コマ
データベース構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベース概念(4/6) データベース概念を、データとは何ものを捉え、身の回りのデータの利便性やデータベースの導入効果及びデータベース事情から学びます。</li> <li>・データベース論理設計(4/6) データベースのシステム化に向けて、データベースのファイル編成を学び、データベースの論理設計をデータベース間の関係と操作から学びます。</li> <li>・DBMS実装(4/10) データベース言語による実装をデータモデルを意識し、一連のデータベース構築プロセスを具体的な実習から学びます。</li> </ul>	15.0	10
合計		15.0	10

【特徴】本講座のデータベースでは実際の設計と実装の基本を学びます。また、データベース言語に対する理解が重要となりますので、日々のデータベース練習問題から言語の理解度を確認し、実装スキルの向上を図ります。

## プログラミング講座 ご案内

【主催】株式会社浜名湖国際頭脳センター

【目的】本講座は Java 言語を使いソフトウェア開発におけるプログラミングの基礎を学びます。

【構成】本講座は下表に示す 2 科目からなり、合計 7 日間（52.5 時間）で実施します。

【期間】4月11日～4月19日（7.5 時間/日）＜土日はお休み＞

【時間】 9：30 ～ 12：30（中間休憩 10 分含）

13：30 ～ 18：00（中間休憩 10 分×2 回含）

【場所】静岡県浜松市中区砂山町 348-12 オレンジビル 3F B ルーム

【講師】堀 格人／(株)システム計画研究所（研究員）兼 静岡大学情報基盤センター(客員教授)

【定員】20 名

【受講料】 ¥ 126,000 ※テキスト代等含む。消費税は含みません。

科目名	科目内容	計画	
		時間	コマ
ソフトウェア設計基礎	ソフトウェア開発プロセスの基本を学びます。(4/11) ・問題分析と調査及び検討の進め方 ・プログラムの目的と仕様の決め方 ・入出力の考え方 ・プログラムの枠組みの考え方 ・テスト方法の考え方	6.0	4
Java プログラミング	J a v a プログラミングの基礎を学び、練習課題を実装します。 ・Java プログラミング技術の概論(4/11) ・Java 開発環境導入（開発環境と開発手順）(4/11) ・Java 言語の基礎(4/12,4/13) ・クラス（オブジェクト指向，パッケージとスコープ）(4/14) ・クラス拡張，継承(4/17) ・再帰処理，例外処理(4/18) ・クラス図，JavaAPI，JavaDoc 等(4/19)	46.5	31
合計		52.5	35

【特徴】本講座はソフトウェア開発における「実際の設計」と「プログラム実装の基本」を学びます。この学習ではプログラム言語に対する理解が重要となりますので、日々のプログラム練習問題から言語の理解度を確認し、実装スキルの向上を図ります。

## 情報システム開発講座 ご案内

【主催】株式会社浜名湖国際頭脳センター

【目的】本講座は、具体的なシステムを取り上げ、情報システム開発の上流工程から実装までの一連の作業の流れを実習体験し学びます。

【構成】本講座は下表に示す2科目からなり、合計8日間（60.0時間）で実施します。

【期間】4月20日～5月2日（7.5時間/日）＜土日および4/21はお休み＞

【時間】9:30～12:30（中間休憩10分含）

13:30～18:00（中間休憩10分×2回含）

【場所】静岡県浜松市中区砂山町348-12 オレンジビル3F Bルーム

【講師】堀 格人／(株)システム計画研究所（研究員）兼 静岡大学情報基盤センター(客員教授)

【定員】20名

【受講料】¥144,000 ※テキスト代等含む。消費税は含みません。

科目名	科目内容	計画	
		時間	コマ
システム開発実習	<p>数人のチームを作り、チーム内における作業分担や推進計画などを組み立て、同一課題を設計から実装・テスト・納品までをスパイラルモデルによるシステム開発を体験します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発要件説明と開発計画(4/20)</li> <li>・要件定義(4/24) 基本機能設計(4/25)</li> <li>・基本機能実装とテスト(4/26)</li> <li>・拡張機能設計(4/27)</li> <li>・拡張機能実装のテスト及びアルゴリズム強化(4/28)</li> <li>・テストとドキュメント update(5/1)</li> <li>・納品(5/2)</li> </ul>	51.0	34
システム評価	<p>開発したシステムの評価とレビュー及び、マネジメント報告を実習いたします。</p> <p>中間評価とレビュー(4/26) システム開発実習作業途中のチーム進捗状況を発表します。これにより各チームの進捗具合を互いに確認し合い、自チームの推進レベルを再確認します。</p> <p>最終評価とレビュー及び、マネジメント報告(5/2) 開発した成果物をチーム対抗比較し品評します。 この開発実習成果として、設計と実装及びプロジェクトマネジメントは上手く学習成果が活かされたか振替を行い学びます。</p>	9.0	6
合計		60.0	40

【特徴】本講座はソフトウェア開発における一連の開発作業を体験し学習すると共に、チームワークと進捗管理及び品質管理などプロジェクトマネジメントも体験します。これによって業務遂行時における開発推進スキルと業務管理スキルの向上を図ります。

## 情報システム基礎 I 講座 ご案内

【主催】株式会社浜名湖国際頭脳センター

【目的】本講座は I T 企業で働く社会人として情報システムの基本概要知識を学びます。

【構成】本講座は下表に示す 1 科目からなり、合計 8 日間（60 時間）で実施します。

【期間】5月8日～5月18日（7.5 時間/日）＜土日および 5/12 はお休み＞

【時間】 9：30 ～ 12：30（中間休憩 10 分含）

13：30 ～ 18：00（中間休憩 10 分×2 回含）

【場所】静岡県浜松市中区砂山町 348-12 オレンジビル 3F B ルーム

【講師】八巻 直一／国立大学法人静岡大学名誉教授（工学博士）

【定員】20 名

【受講料】 ¥ 144,000 ※テキスト代等含む。消費税は含みません。

科目名	科目内容	計画	
		時間	コマ
ソフトウェア産業の歴史と基礎技術	<p>情報基盤の勃興と歴史をなぞり、情報産業が成立して以来、特に日本における情報産業の歴史と現状を学びます。この世界に乗り出す技術者の新人が、何を学び、どのような仕事が待っているか認識します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報産業の歴史と現在(5/8) コンピュータの歴史と社会的影響を確認します。</li> <li>・情報ビジネスの基礎知識(5/9) 日本における情報産業の役割と歴史を学びます。</li> <li>・SE に求められる資質(5/10) ソフトウェアビジネス, SE という仕事を学びます。</li> <li>・情報システムの歴史と現在(5/11) 情報システムとは何か? どのような分野があり、どのような現状であるか学びます。</li> <li>・問題解決 (5/15) SE にとって最も求められるスキルである、問題解決法を学びます。</li> <li>・計画立案(5/16) プロジェクト型の仕事の計画を立てる方法を学びます。</li> <li>・ものづくりの歴史と現在(5/17) 他の分野も含め、ものづくりの歴史とその管理技術を学びます。</li> <li>・新しい流れ(5/18) クラウドコンピューティング、AI など最新のトレンドを学びます。</li> </ul>	60	40
合計		60	40

【特徴】本講座は情報システムの生い立ちを学ぶと共に、グループワークによる課題演習を行い、日々の成果をレポート作成し、組織行動と報告スキルの向上を図ります。

## 情報システム基礎Ⅱ講座 ご案内

【主催】株式会社浜名湖国際頭脳センター

【目的】本講座はIT企業で働く社会人として情報システムの管理概要知識を学びます。

【構成】本講座は下表に示す1科目からなり、合計8日間（60時間）で実施します。

【期間】5月19日～5月31日（7.5時間/日）＜土日および5/26はお休み＞

【時間】9:30～12:30（中間休憩10分含）

13:30～18:00（中間休憩10分×2回含）

【場所】静岡県浜松市中区砂山町348-12 オレンジビル3F Bルーム

【講師】八巻 直一／国立大学法人静岡大学名誉教授（工学博士）

【定員】20名

【受講料】¥144,000 ※テキスト代等含む。消費税は含みません。

科目名	科目内容	計画	
		時間	コマ
ソフトウェア構築の基礎	<p>ソフトウェアの構築の全体像をつかみ、技術的基礎知識とマネジメントの基礎知識を学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム構築の全体像と要求定義(5/19) システム開発とは何かを学び、何を構築すべきかの段階の基礎知識を学びます。</li> <li>・オートマトンⅠ(5/22) ソフトウェアは一種の考える機械であり、その基礎はオートマトンの理論です。ここでは、基礎を学びます。</li> <li>・オートマトンⅡ(5/23) ここでは、オートマトンを用いた思考構造の設計を学びます。</li> <li>・アルゴリズム(5/24) ソフトウェアの動きはプログラムで記述されますが、ここでは動きを表現するいくつかの基礎を学びます。</li> <li>・構造化設計 ソフトウェア設計はうまく構造化する必要があります。ここでは構造化設計の基礎を学びます。</li> <li>・プロジェクト管理Ⅰ：計画(5/29) システム構築はプロジェクト型の仕事です。プロジェクトを成功に導く計画技法の基礎を学びます。</li> <li>・プロジェクト管理Ⅱ：実施(5/30) プロジェクト計画と実施の相違を分析し、成功に導く管理技術を学びます。</li> <li>・情報セキュリティとサービス(5/31) 情報セキュリティとサービスは、システム運用の基本的マネジメント対象です。ここでは、それらのマネジメントの基礎を学びます。</li> </ul>	60	40
合計		60	40

【特徴】本講座は情報システムの安全運用とマネジメントに対する考え方を学ぶと共に、グループワークによる課題演習を行い、日々の成果をレポート作成し、組織行動と報告スキルの向上を図ります。